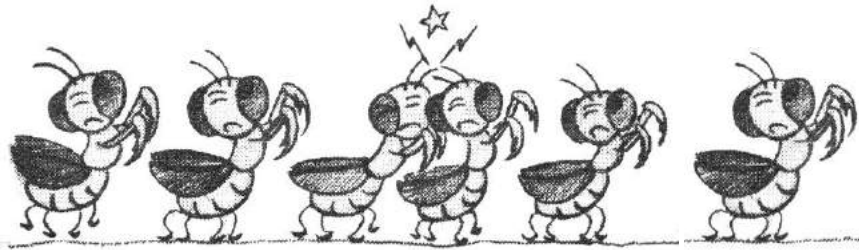


楽しいニュース

ニュースレター

No. 08

2021/09



開所 6 周年記念パーティー開催！

コロナ禍でのグループホームの生活も様々な面で我慢を余儀なくされ、利用者の皆様の希望通りの行事が行えない状況が続いております。

そんな中、7月2日移動に於ける感染リスク等に配慮し、感染防止対策が施された近所の焼肉屋さんで利用者さんと支援者数名のみで細やかに楽し荘 6 周年を祝う会食を行いました。2年ぶりの外食に、予定を発表した日から皆さん楽しみにして下さいました。

スタッフはひたすら肉を焼き、利用者さんは肉や野菜のお代わりを重ね、旺盛な食欲を満たした後は恒例のビンゴゲームを楽しみました。
(本文 T.S)

A.I さん

ホーム集合を勘違いしたのか一人で会場の焼肉店を探していたようですが、管理者と遭遇し、15分遅れで到着。世話人の「乾杯！」の声掛けに、自らグラスを取り上げて合わせています。一番にビンゴ！！強運！！



S.S さん

肉が焼けるのを待ち、他者と順番に分け合いながらの食事マナーも完璧！！自身が食した部位は、「これは〇〇さん」と言って、他者も均等に食べられる様気遣いを見せてくださいました。



S.M さん

ダイエット中ですが、美味しいお肉とご飯をお代わりしています。世話人のサポートを受けながら一種にビンゴカードをチェックしながら楽しみました。



Y.S さん

お決まりのコースの肉が終わると「もっと食べたい!」「ホルモンがいい!」と追加注文、もちろんみんなに分けて頂きました。「美味しかった!」の最後の一言は実感がこもって居ました(^_^)リーチは早くトリプルリーチまで粘りながら惜しくも4番目。



R.Y さん

肉の焼き具合をチェックするスタッフに「まだ赤い。まだ焼く」と指摘が入ります。肉の生焼けは良くないと、みんなに教えてくれました。お肉も沢山食べ、お腹一杯になったらごちそう様!が出来ました。



T.K さん

こちらもダイエット中ですが、世話人に量を確認しながら摂取量を気にしながらも楽しんで食事をされていました。ビンゴゲームでは、数字の読み上げが早かった様で「ゆっくり!」と声を上げる一幕も。繰り返しの読み上げで確認できたようです。



その後は、全国的に感染者数が激増の一途をたどり、再びホーム内での行事に成ってしまいました。

S.M さん誕生日会☆三

8月22日、一日早いSさんの誕生日会を楽し荘のホームダイニングで細やかに開催しました。コロナ禍で外での誕生日会が出来ず、カラオケも出来ない中、楽し荘内での誕生日会となりました。

ご本人希望のカレーライス。スタッフが腕によりをかけて作りました(^_^)。全員がお代わり!みんなカレーは大好きです。





《さとしさん 誕生日おめでとう》とデコレーションの入ったケーキをみんなで食べました。みんなからハッピーバースデーの歌で祝福され、立ち上がってうれしさと、みんなへの感謝の気持ちを表現したSさんでした。



「次はS世話人のカレーが食べたい」と次の要求（来年の誕生会？）もしっかりされていました。

楽し荘開所6周年に際してスタッフからメッセージ

昨年の5周年、今年の6周年とコロナの中で、ホームでは皆さんルールを守って感染者は出ていません。全てのイベントが縮小、中止になってしまいましたが、変異種の恐怖。いつまで続くのか、職員も心配と不安で神経質になっています。ホームから感染者を出さないように、充分に気をつけて行動していきます。（世話人 M.S）

楽し荘が開所して6年が経ちました。日曜日の夕方は「ただいまー」と元気な声がホームに響きます。すっかり平日の自分の家になりましたね。皆さんの元気な声が楽し荘の宝です。病気にならず、コロナにも罹らず、元気な毎日を送りましょう。（生活支援員 H.K）

楽し荘に来てから、丸3年が経ちました。利用者との関りはとても楽しく勉強になることばかりです。イベントで皆さんが、あれが楽しかったなどと嬉しそうに話をしている姿はイキイキしていて輝いています。コロナの制約の中でも環境を受け入れているので、早くみんなで以前のようにワイワイ出来たらと願っています。（夜間支援員 K.S）

楽し荘創立6周年、おめでとうございます。私もこちらのスタッフとして働き始めてから3年目となり、利用者の皆様の成長を間近で感じております。この御時世、必要以上の外出をすることも人と喋ることも手放しに良しとされない中、皆様の中で晴れない気持ちが続いていることと思います。それでも変化を受け入れ、新たな環境にも対応して下さる利用者の皆様には感謝でいっぱいです。今後とも楽し荘をより明るく、楽しい毎日を過ごせますようスタッフとしてサポートさせていただきます！（夜間支援員 T.O）

6周年おめでとうございます！「楽し荘」完成前は志子田さんからプランを伺い、どのようなグループホームができるのか興味津々でした。完成後はお披露目会に家族で伺い、建物を拝見して素敵！と盛り上がり、建物内のフリーマーケット(?)では超お買い得価格でDVDを数枚購入してホクホク顔で帰宅しました(その頃には、自分が「楽し荘」に伺うことになるとは全く思っておりませんでした)。その数年後に志子田さんからお声がけいただき、日曜日の夕食担当で月に1~2回伺うようになりました。「楽し荘」での夕食づくりは私にとっては時間との戦いですが、少しでも喜ばれるような味付け・美味そうな盛り付けを！という想いで調理しております。利用者の方々がモリモリ召し上がってくださる姿を見ると本当に嬉しいです、「お替わりください」の声がかかると心より感謝の気持ちでいっぱいになります。ここ数カ月ずっと伺うことができておりませんが、細々とでも末永く「楽し荘」に関われれば幸いです。(代替世話人 W.I)

6周年おめでとうございます。月日が経つのが早いですね。ここ1年は辛抱の年でしたが、オリンピックやパラリンピック等開く事も出来て、全てが良くない訳ではなかったと思いたいです。7周年には皆が笑って過ごせる年としてレターを残せたらと思います。(夜間支援員 M.K)

5月から毎週日曜日に働かせていただいております。介護の仕事は全くの初めてだったので、最初は不安でいっぱいでしたが、利用者の皆様が一生懸命に生きる姿、物事に取り組む姿に心を打たれ、今ではこのお仕事がやりがいに感じています。利用者様をサポート、見守ることはとても難しいことですが、日々彼らの成長を間近で感じ私自身も生きる勇気をいただいております。これからもより良い介助ができるように頑張りますので宜しくお願いします。(代替世話人 S.U)

振り返れば、利用者さんと職員が共に歩んだ6年間でした。

当初は、あらゆることを職員の手によって行い、利用者さんはお客様でした。ご自宅で出来ていることをホームの構造や個々の生活スタイルに合わせたやり方で自身が行っていくようになるには、職員が「見守る」ことを学ぶ第一のステップでした。利用者さんの中には、目覚ましい成長を見せてくださる方も居られ、職員にとってそれは大きな喜びであると同時に職員の支援者としての成長でもありました。

6年間の間には、述べ8名の方が「楽し荘」の利用者さんとなられ、4名の方に体験としてホームをご利用いただきました。そのお一人お一人が職員にとっては、「個別支援」とは何かを教えて下さる「先生」でした。

「楽し荘」にご縁のあった皆さんに心から感謝いたします。これからも「楽し荘」は、利用者さんと職員が共に学び、経験し、成長していく場であり続けたいと願います。

(管理者 T.S)

再確認したいこと

コロナ禍に明るい兆しはまだまだ見えませんが、明けない夜はありません。決して軽視はできませんが、新コロナもやがてインフルエンザ並に落ち着くと思います。

そこで再確認ですが、私たちがグループホームの事業に乗り出したのは、私を含めて障害のある者が、障害のない人たちと共に地域社会の中で生きていきたいという願いを持っているからです。

グループホームは、そのためにサポートを受けながら互いに支え合って力を養い、生きる場です。また、ここを基点にアパートや自宅で生きていく人が出てくるかもしれません。選択肢が増えていくことも私たちの狙いです。

楽し荘は、日中は外で働き夜は帰ってきて自分の部屋で寝るとというのが基本的パターンの滞在型グループホームです。しかし、3年前に日中サービス支援型といって、昼も夜も居られるグループホームが認められました。つまり、事業者が日中にホームで支援を行うことを通常とするものです。定員も20名まで可能で、まさにミニ収容施設です。これでは重度化・高齢化を促進し、地域社会で生きていこうという選択肢を自らなくしてしまいます。

障害の重い人も軽い人も、若い人も年配の人もいろいろな人がいて刺激しあい、外で活動するからこそ、地域社会の中で生きることには張りあいが出てくるものです。地域移行という現代の福祉理念に逆行しかねない日中サービス支援型、それを認めるという福祉行政のあり方に疑問を感じ、本来の課題を再確認しようとしている今日この頃です。

特定非営利活動法人フットルース理事長

編集後記

いつもお読みいただきありがとうございます。今回は開所6周年ということもあり、かなりボリュームミーな記事となりました。誕生会の写真も皆さん楽しそうで、こちらが笑顔になります。また外で行事が出来る日が来るのが待ち遠しいですね。ニュースレターにして欲しい内容も募集しております！

T.O

たの そう ごう
楽し荘 ニュースレター08号

2021年 9月 8日発行

NPO法人 フットルース

りじちよう しごなえつろう しゃがいふくしし
理事長 志子田悦郎 (社会福祉士)

〒146-0093 とうきょうとおおたくやぐち かねおや
東京都大田区矢口1-5-4 金親ビル 3F

TEL 03-6716-2640 FAX 03-6715-5600

E-Mail tanoshisou0301@yahoo.co.jp

HP <http://www.sensyobo.co.jp/footloose/index.html>